社会福祉法人ことぶき令和３年度事業報告書

1.　理事会・評議員会の開催状況

⑴　理事会の開催状況

区分	開催日	出席人数	監事	議　　案
第１回	3.　6. 9	９名	２名	①　令和２年度下半期理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告 ②　令和２年度事業報告及び計算書類等の承認 ③　役員及び評議員選任候補者の推薦 ④　定時評議員会の開催内容 ⑤　評議員選任・解任委員会委員の選任
第２回	3.　6.23 書面決議	７名	２名	①　理事長の選定 ②　業務執行理事の選定
第３回	3.11.24	７名	２名	①　令和３年度上半期理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告 ②　令和３年度上半期事業活動収支状況報告 ③　当法人の新型コロナ感染症への対応報告
第４回	4.　3.23	７名	２名	①　令和３年度補正予算の承認 ②　令和４年度事業計画及び収支予算の承認 ③　就業規則変更の承認 ④　資格取得等支援制度規程の承認

⑵ 評議員会の開催状況

区分	開催日	出席人数	監事	議　　案
定時	3.　6.23	９名 欠席１名	１名	① 令和２年度事業報告 ② 令和２年度計算書類等の承認 ③ 理事及び監事の選任

2. 職員状況

⑴ 退職者３名

- 介護老人福祉施設：介護士１名（正規）
- 通所介護：准看護師１名（時間給)、介助員１名（時間給）

【退職理由】家庭の事情２名、健康上理由１名

⑵ 採用者０名

3. 防災対策・設備管理等

⑴ 消防訓練の実施　４月２１日夜間想定　１０月１３日昼間想定

⑵ 設備点検の実施　灯油地下タンク、電気、ＥＶ、給湯、浄化槽、消防設備等

4. 寄付受入れ状況

月	寄付内容	氏名又は団体名
２月	不織布マスク７００枚	波志江町一丁目

5. 健康管理

⑴ 入所者（入居者）

- ６月～７月　後期高齢者健診　　５月２１日　結核健康診断（胸部レントゲン）

⑵ 職員

- ６月１１日　全職員対象定期健康診断及びストレスチェック
  （介護職員は腰痛健診実施）／伊勢崎佐波医師会病院検診センター）
- １２月　介護老人福祉施設常勤介護士健康診断／山田内科クリニック

6. 主な設備、備品等購入　　【総額】９，４９０，０００円

内　　容	事業種別	金　　額
第４期介護用ベッド更新１０台	介護老人福祉施設	２，５００，０００円
ガス炊飯器及び製氷機更新	介護老人福祉施設	７００，０００円
食堂テーブル更新１５台 イス更新１０脚	介護老人福祉施設	１，３００，０００円
第３期 LED 照明工事	介護老人福祉施設 ケアハウス･通所介護	２，８００，０００円
Wi-Fi 環境整備事業（県介護ロボット等導入支援事業）	介護老人福祉施設	１，０００，０００円
ストリーマ空気清浄機３台 （オートレース補助金事業）	介護老人福祉施設 通所介護	４２０，０００円
顔認証サーマルカメラ （オートレース補助金事業）	介護老人福祉施設	１７０，０００円
飛沫防止パーテーション （Made in いせさき支援事業）	介護老人福祉施設 ケアハウス･訪問介護	６００，０００円

7. 事故発生状況　４３件（前年比－１０）

事　業　所	転倒転落	誤　嚥	介護ミス	その他	計
介護老人福祉施設	24	0	5	2	31(＋6)
ケ　ア　ハ　ウ　ス	3	0	0	0	3(±0)
通　所　介　護	1	0	0	0	1(－20)
訪　問　介　護	0	0	0	0	0(±0)
短期入所生活介護	8	0	0	0	8(＋4)

《骨折等重大事故の概要》７件（前年＋３）

事業所	年　齢 介護度	骨折部位・状況等
介護老人福祉施設	９７歳 女性 要介５	〈左膝及び頬骨のひび〉昼食後居室ベッドにて休まれていたが、３時前に訪室するとベッド下に転落されており、受診した結果２か所のひびということで固定し施設での保存療法となる。現在は完治。
	８４歳 女性 要介５	〈左足首骨折〉入浴時左足に浮腫みと熱感があるのを発見し経過観察していたが、軽減されないため受診した結果骨折が見つかる。固定はせず安静にするよう指示され施設に戻る。現在は完治している。
	９１歳 女性 要介４	〈左大腿骨骨折〉朝食後食堂にて他の入所者と会話されていたが、昼食前に車椅子より立ち上がろうとして転倒、痛み強く受診した結果骨折が判明し、手術後１か月の入院加療により軽快、現在に至る。
	１０３歳 女性 要介３	〈右大腿骨頸部骨折〉昼食後居室で休まれていたが１４時頃大声がしたため訪室すると居室内の洗面台付近で転倒しているところを発見する。頭と腰の痛みのため受診、骨折で１か月の入院加療となる。
ケアハウス	８８歳 女性 要介１	〈右大腿骨頸部骨折〉早朝４時トイレのためベッドから起き上がる際に転倒する。受診の結果骨折が判明し、手術後リハビリ等により２か月以上の入院生活となる。現在は歩行にてデイサービス利用中。
	７２歳 女性 要介１	〈左大腿骨頸部骨折〉早朝５時頃居室内のトイレに行こうとしてバランスを崩しその場に転倒する。受診後、入院・手術となり１か月間入院加療する。
	９０歳 女性 要支２	〈第１腰椎圧迫骨折〉７時頃起床、居室リビングの椅子に座ろうとしてバランスを崩し尻もちをついてしまった。痛み強く受診、そのまま入院となる。保存療法を中心にリハビリ等で２カ月半後に退院。

8. 苦情対応状況　　0件（前年比±0）

9. 利用者状況

事　業　所	延利用人数	一日平均	稼働率	平均介護度
介護老人福祉施設	17,371人 (-421)	47.6人 (-1.1)	95% (-2)	4.5 (±0)
ケ ア ハ ウ ス	4,996人 (+108)	13.7人 (+0.3)	91% (+2)	1.0 (+0.2)
通　所　介　護	6,179人 (+179)	20.0人 (+0.4)	57% (+1)	2.1 (+1)
訪　問　介　護	2,887件 (+561)	9.3件 (+1.8)	―	1.5 (+0.1)
短期入所生活介護	3,217人 (+556)	8.8人 (+1.5)	88% (+15)	3.4 (+0.3)
居 宅 介 護 支 援	1,529人 (-2)	月127.4人 (-0.1)	―	1.9 (±0)

10. ボランティア及び実習生受入状況

⑴ ボランティア（入居者・利用者との接触なし）

- 伊勢崎興陽高校　花と緑で環境を創る系列２年生　花壇の植栽　6月、11月
- ケアハウス　市立第三中学校地域奉仕団２名　創作品の受領等

⑵ 実習生　８名

- 介護老人福祉施設　東京福祉大学　介護実習　１名
- 介護老人福祉施設　新田暁高校　初任者研修　３名
- 通所介護　教員免許介護体験実習　４名

11. 職員研修実施状況

⑴ 施設外研修

開催月	事業所	研修内容	開催方法
４月	居宅介護	介護予防業務	集合
６月	居宅介護	介護予防支援従事者研修	動画配信
７月	居宅介護	感染症予防	Zoom
８月	介護老人	看護実務者研修	集合
	介護老人	安全対策担当者養成研修	Zoom
９月	介護老人	看護実務者研修	Zoom
	介護老人	新任職員研修	動画配信
	介護老人	誤嚥を防ぐ食事ケアとポジショニング	Zoom
	介護老人	介護スキルの統一	動画配信
	介護老人	技能実習指導員講習	集合
	居宅介護	ケアプラン作成研修	集合
	居宅介護	事例検討会	Zoom
	居宅介護	在宅訪問栄養管理指導	Zoom
	通所介護	リスクマネジメント研修	動画配信
	訪問介護	移送サービス運転者講習（講義）	集合
１０月	訪問介護	移送サービス運転者講習（実技）	集合
	通所介護	リハビリにおける疾患特性と評価	動画配信
	介護老人	抑制廃止の基礎	Zoom

	介護老人	老施協介護研究部会研修	動画配信
	介護老人	メンタルヘルスとコミュニケーション術	動画配信
１１月	介護老人	身体拘束の種類と事例研究	Zoom
	居宅介護	アドバンスケアプランニング	Zoom
１２月	居宅介護	認定調査員現任研修	動画配信
	居宅介護	地域包括ケア病棟について	Zoom
	通所介護	LIFE について	動画配信
１月	居宅介護	オンライン診療について	Zoom
	介護老人	介護事業者のための BCP 作成セミナー	Zoom
	介護老人	新任職員研修	Zoom
	介護老人	オミクロン株拡大で施設が取り組むべきこと	動画配信
２月	介護老人	コロナ感染者発生時の経過と対応	動画配信
	介護老人	困難事例への対応	Zoom
	介護老人	中堅職員研修	Zoom
	通所介護	認知症の人の健康体操	動画配信
	居宅介護	BCP 作成のポイント	Zoom
	居宅介護	看取り患者の事例検討	Zoom
	居宅介護	自立支援型ケアプラン	Zoom
３月	通所介護	苦情解決セミナー	動画配信
	居宅介護	自然災害発生時の地域扶助について	Zoom
	居宅介護	法律関係の相談の対応	Zoom

(2)　施設内研修

月	介護老人福祉 短期入所生活	ケアハウス	通所介護	訪問介護	居宅介護支援
4 月	喀痰吸引及び 緊急時対応	リスクマネジ メント①	倫理及び 法令遵守	倫理及び 法令遵守	ターミナルケ ア
5 月	リスクマネジ メント①	新型コロナ感 染症予防	認知機能向上 のためのレク	マナーアップ	倫理及び法令 遵守
6 月	個人情報保護 ハラスメント	身　体　拘　束 ZERO	リハビリ	苦情対応	
7 月	食中毒予防	倫理及び 法令遵守	新しい介護技 術	感染症対策	プライバシー 保護
8 月	褥瘡予防	苦情対応	非常災害時の 対応	コミュニケー ション力向上	
9 月	苦情処理 BCP	個人情報プラ イバシー保護	食中毒・感染 症予防	認知症ケア	虐待防止
10 月	身体拘束ゼロ 高齢者虐待①	リスクマネジ メント②	リスクマネジ メント	高齢期の身体 と疾病の理解	
11 月	リスクマネジ メント研修②	認知症及び認 知症ケア	リハビリ	リスクマネジ メント	感染症予防
12 月	看取り介護	食中毒及び 感染症予防	身体拘束・高 齢者虐待防止	緊急時対応	
1 月	感染症予防	身体拘束・高 齢者虐待防止	個人情報プラ イバシー保護	プライバシー 保護	認知症及び認 知症ケア
2 月	身体拘束ゼロ 高齢者虐待②	緊急時対応	認知症の人の 健康体操	高齢者虐待予 防	
3 月	新年度に向け ての業務改善	サービス向上	苦情解決	事業所及び自 己評価	居宅介護支援

12. 年度総括

⑴ 法人全体

① 人材確保と職員定着

介護老人福祉施設介護職員（正規）の応募がなく、年間を通して超過勤務にて人員確保する状態が続いてしまった。年度末にホームページも刷新され、スマホでの利便性が高まったことから、より多くの人への情報発信が期待される。

※ 新しいホームページ　https://www.kotobukinosato.or.jp

② 新しい事業様式

新型コロナ感染症対策として、新たにストリーマ空気清浄機、食堂テーブル用パーテーションを導入、マスク・手袋等必要物品の備蓄も十分な量を確保できている。しかし２年続けてことぶきの郷祭りの中止、ボランティア・慰問等の受入れ停止、家族との対面面会停止等、長期にわたり外部との交流が絶たれており、改めてコロナ禍の行事や外部交流のあり方について検討していきたい。

⑵ 介護老人福祉施設

【入所】９名（－３）　　【退所】　８名（－４）

コロナ対策の徹底により、今年度も入所者、職員共にひとりの感染者も出さずに済んだことは評価できる点と思われるが、一年を通して入院者が多く、そのほとんどが肺炎と診断されている。入所者の重度化も原因の一つではあるが、口腔ケアをはじめとする細やかな健康管理が十分でなかったことを反省し、今後のケアにつなげたい。

⑶ ケアハウス

【入居】２名（±０）　　【退居】　１名（－１）

面会や外出制限等、昨年度に引き続き入居者に不自由な生活を強いることとなったが、デイサービスの利用や施設内での活動を充実させることで、大きな不満を持つ方も見られていない。外出行事も小規模ながら徐々に復活させており、今後も警戒レベルに合わせて計画し、楽しみを増やしていきたい。

⑷ 通所介護

【新規】２６名（＋１０）　【終了】２５名（－１）

年度途中の機能訓練指導員の退職により、リハビリ関係の加算が取得できなくなっ

たが、サービスそのものは継続しており、利用者の満足度は高いと思われる。3月に職員の一人が新型コロナに感染し、2日間営業を自粛したが、迅速な初期対応により利用者や他の職員に蔓延することなく経過観察期間を終了できている。

⑸ 訪問介護

【新規】１５名（＋４）　　【終了】　７名（－５）

新規利用者が増え、終了の方が少なかったことで実績も大幅に回復し、一昨年並みに戻っている。また看取りの方を積極的に受け入れた結果、終末期の身体介護を経験でき、実績だけでなくスタッフのスキルアップも期待できる。新型コロナ対策として、利用者の健康状態の把握に努め、家族やケアマネジャーとの連絡を密に行っている。

⑹ 短期入所生活介護

【新規】１７名（＋２）　　【終了】１１名（－１）

新型コロナ感染症対策として、①ショートステイ入所時に抗原検査を実施②個室の利用促進③３０日超えの長期的利用者の割合を増やし入退所回数を減らす、等により感染リスクの低下につなげている。また併設デイの職員感染の際は、直ちに新規受け入れを中止し、安全が確認できてから再開するなど万全の体制を取っている。

⑺ 居宅介護支援事業

【新規】５１名（＋２５）　【終了】２９名（－３）

感染症対策マニュアルを作成の上研修を実施、いざという時の行動の共有化を図っている。また新型コロナ感染症の影響でオンライン研修や会議が多くなったことで、参加の機会が増え、各ケアマネのスキル向上に役立っている。病院や包括支援センターからの相談を積極的に受け、昨年度停滞していた新規利用者も大幅に増加している。

13. 令和３年度事業報告附属明細書について

令和３年度事業報告で、社会福祉法第４５条の２７第２項の規定により作成する事業報告の付属明細書は、社会福祉法施行規則第２条の２５第３項で規定する事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していない。